

大学奨学生 40人が内定

伊藤青少年育成奨学会

伊藤青少年育成奨学会

(田代久美子理事長)の2

024年度大学奨学生を決

める面接が、多治見市十九

田町のバロー文化ホールで

行われた。40人が合格し給

付が内定した。

奨学会はバローホールデ
ィングス創業者の故伊藤喜



面接を受ける大学進学希望者(右
手前)＝多治見市十九田町、バロー
文化ホール

美氏の個人資産の一部を元
に設立。2000年度から、
大学に進学する県出身者や
県内在住者、県内大学への
進学者に年36万円の奨学金
を給付している。
24年度は前年より2人少
ない75人の応募があり、小
論文などの1次選考を通過
した50人が、田代理事長と
3人の選考委員による2次
選考の面接に臨んだ。
奨学会によると、応募者

の出身高校は県外10校を含
む44校。小論文の指定図書
は『はやぶさ―不死身の探
査機と宇宙研の物語』(幻
冬舎新書)だった。面接は
3日間に分けて実施した。
このほか、大学院生を対
象にした奨学制度には前年
より4人多い16人の応募が
あり、うち10人が書面審査
で合格した。いずれも19日

の理事会で承認され、内定
した。
(小森直人)